

[給付様式1-5]

【新給付】 停止の異動願 (届)

【新給付】停止

送付不要

独立行政法人日本学生支援機構理事長 殿
下記のとおり願出(届出)いたします。

1. 基本情報

太枠内を全て記入してください。

										届出年月日				
学校名					学籍番号					生年 月 日				
学部・学科 (課程・研究科)					フリガナ					学年		年		
奨学生番号					氏名					停止(本人都合)は、 奨学生の自署が必要です。				

2. 異動情報

以下、太枠内を記入してください。

記入者		【停止】(本人都合) 奨学生の 自署が必要			
奨学生		停止開始 希望年月 ※1		年 月	
		停止理由 ※2		<input type="checkbox"/> 留学 <input type="checkbox"/> 留学ではない	
学校		卒業期 ※3		年 月	

学校	留学情報	国名			
		国費情報 ※4		<input type="checkbox"/> 海外留学支援制度	
		受給期間		年 月 日 ~ 年 月 日	
		留学時 の身分と その期間 ※5 ※6	I	<input type="checkbox"/> 留学 <input type="checkbox"/> 在学	年 月 日 ~ 年 月 日
II	<input type="checkbox"/> 留学 <input type="checkbox"/> 在学		~		

※1 海外留学支援制度(協定派遣)を受給するため、給付奨学金を「停止」する場合は、受給開始年月に基づいて「停止」とするため、記入不要(記入があっても無効とする)。
※2 停止理由が「留学ではない」の場合は、右の留学情報の記載不要。
※3 学籍確認のため「卒業期」の記入は必須。

※4 「海外留学支援制度」以外は「私費」として取扱い、記入不要。
「在学」を選択した場合は学校で把握している留学 期間を記入する。
※5 留学中に複数の身分が存在する場合のみ II の欄も記入する。
※6 「留学」を選択した場合は「留学」の身分に異動する期間を 記入し、実際に渡航する期間を記入しない。
「在学」を選択した場合は学校で把握している留学 期間を記入する。

停止の異動始期は 年 月 です。

4. 学校から機構への連絡事項記入欄

--

6. 学校処理

--

5. 学校証明欄

上記記載のとおり相違ないことを証明いたします。

学校の証明 年 月 日

学校名

担当課長※

※証明者は課長相当職以上の方としてください。

7. 機構に送付が必要な理由

※下記に✓が入る場合は、スカラACから入力処理せずに異動願を機構に送付してください。

振込超過あり 組戻し依頼済

その他

電話番号	学校番号	区分

ご記入いただいた情報及びあなたの奨学金に関する情報は、機構の奨学金支給業務、奨学金貸与業務(返還業務を含む)及び在籍する学校での授業料等減免業務のために利用されます。この利用目的の適正な範囲内において、当該情報(奨学金の返還状況に関する情報を含む)が、学校、金融機関、文部科学省及び業務委託先に必要に応じて提供されますが、その他の目的には利用されません。また、行政機関及び公益法人等から奨学金の重複受給の防止等のために照会があった場合は、

(機構使用欄)

最終振込年月	20 年 月	振込超過 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	か月	要返戻金額	円
--------	--------	---	----	-------	---

提出先 異動・補導係	スカラAC入力 処理必要	郵送の要否 送付不要
---------------	-----------------	---------------